

# WebDB Forum 2014 L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X Template (English Paper)

DAI TOKO<sup>1,a)</sup> RIKO JOHO<sup>2</sup>

**Abstract:** Template for WebDB Forum 2014 Proceedings in English.

## 1. はじめに

このテンプレートは情報処理学会 L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X スタイルファイル<sup>\*1</sup> の DOS 用を基に作成されました。webdbf2014.tex がソースファイルで、webdbf2014.pdf が原稿の作成例です。webdbf2014.tex は SJIS でエンコードされておりますので、環境に合わせて変更して下さい。なお、英文アブストラクトを省略される方は、webdbf2014omitAbst.tex (原稿作成例は webdbf2014omitAbst.pdf)、英文アブストラクトと英文タイトル・英文著者名を省略される方は webdbf2014omitAll.tex (原稿作成例は webdbf2014omitAbst.pdf) をご利用ください。また、英語で原稿を執筆される方で、日本語タイトル・日本語著者情報・日本語アブストラクトを省略される方は webdbf2014eng.tex (原稿作成例は webdbf2014eng.pdf) をご利用ください。

## 2. 英文アブストラクト等の省略について

和文で原稿を執筆する場合、英文タイトル、英文著者名、英文アブストラクトは省略することが可能です。いずれかを省略する場合は対応するコマンドをコメントアウトし、必要に応じて調整してください。

### 2.1 英文アブストラクトのみを省略する場合

`\begin{eabstract}` ～ `\end{eabstract}` の部分をコメントアウトして下さい (webdbf2014omitAbst.tex 参照)。

### 2.2 英文タイトル、英文著者名、英文アブストラクトを省略する場合

クラスの指定に `noauthor` オプションを追加して `\documentclass[submit,techreq,noauthor]{ipsj}` として下さい。さらに、`\etitle{}`、`\begin{eabstract}` ～ `\end{eabstract}` をコメントアウトして下さい (webdbf2014omitAll.tex 参照)。

## 3. 英文のみでの原稿執筆について

クラスの指定に `english` オプションを追加して `\documentclass[submit,techreq,english]{ipsj}` として下さい (webdbf2014eng.tex 参照)。

## 4. おわりに

本テンプレートに関する問合せは WebDB Forum 2014 実行委員会<sup>\*2</sup> までお願いします。情報処理学会には問い合わせないようにお願いします。

---

<sup>1</sup> XX University

<sup>2</sup> YY Company

<sup>a)</sup> dai.toko@titech.ac.jp

<sup>\*1</sup> <http://www.ipsj.or.jp/journal/submit/style.html>

---

<sup>\*2</sup> [webdbf2014inquiry@googlegroups.com](mailto:webdbf2014inquiry@googlegroups.com)